



健康・体力づくり 運動推進全国大会東京大会

10月26日と11月22日、東京体育館など都内13会場において第45回健康・体力づくり運動推進全国大会東京大会が26協力団体、約1,000名のスポーツボランティアに支えられ、都民約15,000名の参加を得て開催されました。

大会第1日目には、東京体育館でのオープニングセレモニーに続き、都内12会場において、協力団体のスポーツボランティアの企画運営の下、ウォークラリー・ウォーキング・トリム体操等26種目の体力づくり実践活動が行われました。秋空の下、天候にも恵まれ、「元気よく イチ・ニ・サン・シ 汗ながす」の大会テーマのとおり、スポーツボランティアと参加者が、一体となつてすがすがしい汗を流しました。



実践活動「ウォーキング」 出発前の準備体操



実践活動「スポーツチャンバラ」での一コマ

大会2日目の式典は、東京都庁大会議場で行われました。実行委員会会長である横山洋吉東京都教育長の開式のことはではじまり、健康・体力づくり運動において顕著な実績を上げられた全国の優秀組織が表彰されました。続いて、大会テーマとして都内の中学生から応募のあった482作品のうち、最優秀賞を受賞した東京都世田谷区立緑丘中学校2年上脇結友さん、大会ポスターとして都内の小学生から応募のあった616作品のうち、最優秀賞を受賞した東京都江東区立第三砂町小学校6年小山有里沙さんをはじめ、優秀賞など40名が表彰されました。表彰式の後には、スポーツキャスターの益子直美さんが「私とバレーボール人生」と題する講演を行い、満席の会場を沸かせました。



益子直美さんの特別講演「私とバレーボール人生」

健康・体力づくり運動推進全国大会とは

健康・体力づくり運動推進全国大会は、健康・体力づくり運動の推進を図るため、文部科学省、厚生労働省及び都道府県教育委員会等が主催者となり、昭和40年度から各都道府県において輪番で開催しているものです。

また、この大会は、文部科学省を事務局とする体力づくり国民会議が定めた毎年10月の「体力づくり強化月間」における中央行事として位置づけられています。

なお、次回の第46回健康・体力づくり運動推進全国大会は、来年大阪府で開催されます。